

# 全科協ニュース

URL <http://jcsml.kahaku.go.jp/JCSM/>

全国科学博物館協議会 東京都台東区上野公園 国立科学博物館 ☎110-8718 Tel.5814-9857・9858 Fax.5814-9898 平成12年3月1日発行(通巻第171号)

## 特集 博物館の食堂

### 博物館を味わう

安倍 眞美子

博物館で人はさまざまな知的刺激を受ける。

資料を見聞きし、時には触れて匂いを嗅ぐ……、館内で“見て、触れて、感じた”心地よい体験をしばし反芻し、感動の余韻に身を委ねたいと思ったとき、それに相応しい場所として「喫茶室」あるいは「レストラン」というような飲食施設の充実が、近年、各館園で進んできているように見受けられる。

こうした施設が附加されることで、味覚の領域にも満足が与えられ、博物館で過ごすひとときが一層、豊かで楽しいものとなる。

ある意味では、非日常の世界である博物館の展示室、そこから日常の生活へと戻る際に、クッション的な役割を果たす空間として、来館者に無意識の中に有効利用されているものの一つが館内の飲食施設といえるのではないだろうか。

東京の郊外、武蔵野の面影が残る一隅に小さな美術館がある。洋画家のアトリエ跡に未亡人が私財を投じて開館したものだが、その敷地内は雑木林や湧水に恵まれ、また旧住居や茶室も残存している。筆者はここに約九年間勤務し、美術館活動の一環としての飲食施設の運営にも係わる機会があった。それは旧住居を活用したもので画家が生活していた頃の佇まいを生かすため、厨房の充実以外の改装は必要最小限にとどめ、メニューにはクッキー付きの紅茶・コーヒーと自家製オリジナルカレーを吟味して用意した。隠し味は、画家の居間が醸し出す独特の雰囲気。暖炉のあるアットホームな感じの食堂が出来上がり、これは有り難いことに、多くの入館者に好評をもって迎えられ、更にここお目当てのリピーターまで現れるようになった時には喜びも一入であった。このように、どうしたら来館者の心をとらえるサービスが提供できるかを、スタッフとともに思考錯誤を繰り返しながら作りあげた経験を持つ身には、博物館の喫茶室やレストランは、今でもちょっと気になる存在

なのである。そんな博物館の“飲食施設”をいくつか訪ねてみた。

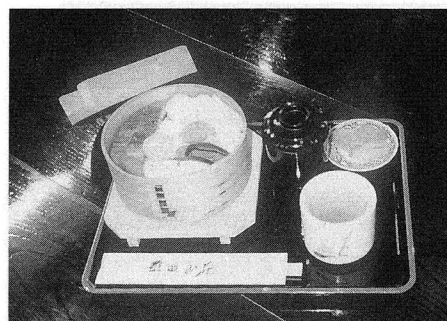
#### (1)東京国立博物館

東京国立博物館と国立科学博物館には1960年頃、既に老舗の「精養軒」が入り、館内食堂の充実がはかられている。その東京国立博物館に1999年7月、新たな飲食施設がオープンした。新装なった法隆寺宝物館の一階ラウンジに併設された「ホテルオークラ・ガーデンテラス」がそれで、喫茶だけでなく食事もOK。張り出したテラスのテーブルには、博物館の木々の間を通過してきた緑色の風が吹き抜けて爽やか。

#### (2)栗田美術館

栃木県足利市の郊外、3万坪の敷地の中に美術館本館(伊万里、鍋島を展示)をはじめとする諸施設が点在する。食事処となっている「栗田山荘」は1733年(享保18年)の建造という足利地方の豪農の屋敷である。

お勧めのメニューは蒸籠弁当。蒸したてのほくほくしたもち米を噛みしめながら太い梁や大絵馬額を見上げると、昔日の面影が彷彿とする。



蒸籠弁当



栗田山荘

**(3) 依水園（寧楽美術館）**

中国や朝鮮の陶磁器を展示する寧楽美術館が公開している依水園は奈良市唯一の観光庭園でもある。庭園内の茅葺きの「三秀亭」は300年も前の建物。ここで名物料理の麦飯とろろやうなとろ御膳がいただける。庭園美を愛で、古の美に触れ、美味に出合う至福の時間が流れる。

**(4) 博物館 明治村**

園内に移築されている「大井牛肉店」は明治20年頃の神戸で肉屋兼すきやき屋として開業していたもの。この異国情緒を感じさせるハイカラ建築の商店の2階でつく牛鍋は文明開化の味。同館ではこの他にも「西郷道従邸」「帝国ホテル」「安田銀行会津支店」等の移築建造物の内部に喫茶室を設けていて、広い園内を散策する際の休憩ポイントとなっている。

**(5) 川村美術館**

“作品・建物・環境”の調和による美術館作りを目指す同館は1990年5月に千葉県佐倉市郊外に開館した。

「レストラン・ベルヴェデーレ」は広い敷地内の見晴らしのよい一角を占めるフランス料理の店。委託運営ではあるが、シェフの話では美術館の意向を取り入れながらメニュー作りをしているとのこと。アラカルトも充実しており、予約をすればコース料理も用意してもらえる。企画展ごとに一味違った料理が楽しめそうなどところも魅力。



レストラン・ベルヴェデーレ

**(6) 船の科学館**

ウォーターフロントに位置し、海と船の文化をテーマにその現在・過去・未来を展示紹介する同館にはその巨大客船の外観によく似合うレストランがある。豪華客船のダイニングを思わせる雰囲気の中、東京港の大パノラマを眼前に中華料理を賞味すればちょっとしたクルーズ気分も。

**(7) よこはま動物園**

1999年4月開園の国内では久々の大型公立動物園で、ゾーラシアの愛称のもと連日多くの入園者を迎えている。一

次開園の現在でも面積約29ヘクタールという広大な園内にはさまざまな施設が点在するが、「オーギーヒル」と名付けられたガラス張りのレストランは天井も高く開放的。カフェテリアスタイルの食事をしながらオセアニアの草原を一望、カンガルーの姿を探す。

**(8) マリンワールド海の中道**

対馬海流をテーマに熱帯から温帯、寒帯の海の生き物350種類の暮らしぶりをそのまま見せる水族館。イルカの仕種を間近に観察できる水中観察路はレストランにも接しているので、その泳ぐ姿を見ながら食事をするができる。イルカ達の目にはヒトの食事風景はどんなふうに写っているのだろうか？

以上のように飲食施設にもさまざまなタイプがある。

(1)は最も一般的なタイプ。喫茶のみという場合も多いが、自家製のケーキや直火焼きの豆使用のコーヒーを用意する等、それぞれに工夫を凝らして心地よさを演出している。因みに現代アートが専門の原美術館は企画展の時々、展示にあわせたオリジナルケーキを出すことで有名。

(2)(3)は広大な敷地や、整備された庭園を持つ美術館によく見うけられる。邸内に移築あるいは現存する由緒ある建造物を活用し、美しい景色を堪能しながら食事を楽しめるようになっている。また、海や湖に面した美術館では、その地理的条件を生かし借景の美しいレストランにしたりされているところが多い。

(4)明治村のような例は歴史的建造物を展示紹介する野外博物館にみることができる。江戸東京たてもの園内の「高橋是清邸」では畳敷きの座敷から復元された同邸庭園を眺めながら食事ができる。また、府中市郷土の森内の「田中家住宅」、川崎市立日本民家園内の「山下家住宅」でも、イレギュラーではあるがうどんやそばの店が開かれる。いずれも文化財的な価値のある建造物を利用するだけに、消防法等、クリアしなければならない点が多いようだが、利用



高橋是清邸内（江戸東京たてもの園）

者にとっては最も博物館らしい飲食施設と感じられる。

(5)フレンチレストランといえば、1986年に世田谷美術館が「ル・ジャルダン」を併設したことで話題を呼んだ。その後、横浜美術館もホテル直営の「ヴァンテ・アン」を導入するなど、美術館の雰囲気や余韻の中で本格的なコース料理をおしゃれに、しかも手頃な料金で味わえる場がつくられるようになった。このようなタイプは昭和60年代以降に開館した、比較的規模の大きい美術館に多く見られる。美術館に入館しなくても利用もできるようになっていたり、貸切パーティーや予約の受付等、経営面からの工夫もなされている。

(6)科学系の博物館においては弁当持参の学校団体等に対応して休憩室等が整備されているケースが多いが、それとは別個に、館のイメージによく似合う形の食堂をもつ所もある。横浜の山下公園に係留・公開されている氷川丸の船内レストランからも港が一望できるが、航海当時のメニューを現代風にアレンジして提供してくれるのも嬉しい。

大阪の交通科学博物館の食堂車を利用した「列車食堂」は、食事をしながら鉄道文化を身近に感じることができる場として貴重な存在といえよう。



列車食堂（交通科学博物館）

(7)(8)動物園・水族館の場合はその性格上、飲食施設は一般的によく普及しており、席数も100以上の館園が多い。この二例は、特に、動物の気配を身近に感じながら食事ができるということがポイントとなっている。

このような形で食堂が園内導線に組み込まれることが可能ならば、これからの動物園・水族館に飲食施設が果たす役割は一層期待されるものと思う。

(その他)特別展や企画展にあわせて特別メニューが用意されることもある。国立民族学博物館の「大モンゴル展」でのモンゴル料理、茨城県自然博物館の「コスタリカの生物多様性とその保護展」でのコスタリカ・ランチ等、展示と連携していかにも博物館らしい。このような試みが

歓迎されているのを見ると、博物館の飲食施設の付加価値として、食事の場を通して自然や人文科学への興味を喚起することができる可能性が見えてくる。

なお、特殊な形態ではあるが、ボランティア会が運営するラウンジ、地元商工会の協力で運営するうどん店（写真下）、地域の社会福祉協議会との連携による喫茶室など、博物館の活動に市民が参加する場を提供する役目を担っている例もあることも付け加えておきたい。



食べ処蔵（江戸東京たてもの園）

さて、このように博物館における飲食施設は単なる食堂ではなく、鑑賞の延長線上、或いは教育普及の一環としての機能を果たし得る場所として重要視されて然るべきものと思われるが、残念ながら70%に上る館園がその充実度が不十分と考えており、実際のデータを見ても、レストランのある館園は15.1%、これに喫茶室を備えている館園を加えてみても31.5%である。（「博物館白書平成11年度版」）

全科協加盟館だけを見ても食堂があると回答している館園は35%にとどまっている。（「全科協データブック1996」）

さらに、自然史や理工系の博物館ではその利用傾向が減少しているとする館が増えているという報告もある。（「博物館白書平成11年度版」）

こうした状況は昨今の経済状況に鑑みれば、確かに無理からぬことかも知れない。その上、季節や曜日による入館者数の変動への対応も考慮しながら、リーズナブルな価格で質の高いものを提供するの、採算を度外視するとしても相当困難であろうことは想像にかたくない。

しかし、さまざまな例で示したとおり博物館の飲食施設はこれからの利用者にとって「味覚を通して展示への理解を深める場」「豊かな感性を育む場」「地域社会との連携の場」など多くの機能を果たす有意義な施設と思う。

博物館のイメージアップに貢献する場の一つとして、博物館のコンセプトがキラリと光る「博物館食堂」の、今後のますますの発展を期待して止まない。



## 牛の博物館と併設レストランとの連携

前沢町立牛の博物館長補佐 阿部 正勝

岩手県南の内陸部に位置する前沢町において、牛は、従来役畜として飼養されていた。しかし、昭和30年代以降農作業の機械化により、その飼養目的が役畜から肉牛生産に変わり、稲わらを飼料とした畜産経営が盛んになった。そして、優秀な素牛の導入や飼育技術の向上の甲斐があって、全国肉用牛枝肉共励会において度重なる最高の賞を受け、「前沢牛」の生産地として全国的に知られるようになった。

こうした中で、特色あるユニークな町づくりを目指していた当町では、町内の農家が培ってきた優れた前沢牛を、町づくりの資源として活用しようと考えた。その結果、郷土の牛について、単なる産業技術面の実績の紹介だけでなく、牛と人との関わりを通して世界の牛や人々の暮らしを知る博物館構想を打ち出した。そして平成7年4月、資料の展示、収集、収蔵及び調査研究を基本構想としたレストラン併設の『町立牛の博物館』を開館させた。そこで、当館と併設レストランとの連携について紹介してみる。

博物館の建設にあたり、レストランの設置は、建設検討委員会でも課題であった。博物館内の展示を観て、牛に関するさまざまな学習を深めるだけでなく、気軽に喫茶ができたり、じっくり前沢牛を賞味できる施設を設置することは、町をアピールする上でぜひ必要なこととして検討されていた。また、国内外の大規模な博物館には、レストランが博物館内に設置または併設されていることが多く、観光スポット的な利用形態も来館者のニーズに応えるものと考えられた。当時の町内には、ステーキなどが食べられる本格的なレストランがなく、業界で高い評価を得ている前

沢牛を地元で食べることができないという住民からの不満の声が多かった。それならば博物館建設を機会に、地元はもとより県外のお客様にも満足がいただける料理を出せるレストランを併設しようということになったものである。

レストランの経営については、博物館への入館者数や店の規模による採算性の見通しが問題になったが、特に経営形態をどうするかは、最も重要な点であった。直営か民間委託か、第三セクター方式をとるべきかどうか。また、料理の価格をどの水準で提供するのか、地元商店が出店を希望するのかどうかなど、関係者との協議は、限られた時間の中で精力的に行われた。当初は地元商店に出店の打診を行っていたが、レストランへの交通の便やメニューの値段設定、店の採算性の見通しなどが問題となり、なかなか積極的に名乗りを上げる人がいなかった。最終的には、町で設置した建物を新たに設立された現地法人が借用する形で営業が開始され、フランス料理を基本とした前沢牛が賞味できる民間経営のレストランが誕生した。シェフは、東京で活躍し、とりわけ前沢牛を料理素材として興味を持っていた伊藤勝康氏（現在は鈴木研二氏が引継いでいる）が採用され、家族とともに前沢に移住してきた。

肉牛料理は、ステーキ、しゃぶしゃぶ、焼き肉、カレーなどがあり、実に多彩で多くの人に好まれている。そうした中で、前沢牛の特徴を生かした料理を提供するレストラン設置のコンセンサスは、地元産の米、野菜などを使用しながらステーキを中心としたグレードの高い風格を持った店で、どちらかと言うと大衆的な料金体系ではなく、高くても納得のいく料理を提供し、前沢牛独特の風味と美味しさを堪能できるレストランにすることであった。これについては、反対意見もあった。この周辺では、高価なステーキよりもファミリーレストランのように品数や低料金設定に魅力があり、値段が高いと一度は行っても普段は減多に行かないというものであった。時は、まさにバブル崩壊後の経済が低迷しているときで、高級指向が成功するかどうかは、小さな町の大きな賭でもあった。幸いにも博物館の評判が良く、県内外からたくさんの方が来館するようになると、前沢牛を食べに来るお客様も多くなり、レストランの経営も安定するようになった。



博物館に併設されているレストラン前沢ガーデン

牛肉が美味しいとされる理由の一つに香りが挙げられる。和牛の代表である黒毛和種は、他の品種に比べると風味が良いことで知られているが、前沢牛は、特に香り成分（主に硫黄、窒素酸化物）を多く含んでおり、全国で有名な銘柄牛の中で、香ばしきの点で最も優れているという研究報告がある。このように、素材は十分評価されているから、全国的に通用する前沢牛の料理を地元でも賞味できるレストランを設置することにより、牛の自然・人文に関する展示を楽しむだけでなく、うまい牛肉で味覚をも満足させることは、当博物館として重要なことと考える。

レストランの機能として重要視されるのは、食事をする人、ミュージアムグッズを買い求める人、休憩に来る人などにも気軽に親しめるものにすることである。それは店の雰囲気や品物の内容にもあり、当面は、周辺の観光土産品や博物館のオリジナルグッズを販売することから始まった。博物館のマスコットの存在として人気のあるハイランド種の剥製標本を模して作ったぬいぐるみの愛称「モコちゃん」、オリジナルテレホンカード、牛の化石のTシャツや絵葉書などを作成販売し、博物館の運営と一体的な経営を目指してきた。さらに、レストランで食事をした人は、入館料を団体扱いの割引としたり、毎年博物館の前庭で開催する十五夜コンサートでは、参加者にサービスするコーヒーやココアは、レストランが提供するなど博物館事業との連携も行っている。これらの取り組みは、レストランや博物館に来られる人々から高い評価を受けており、これからも協力して運営していく必要がある。

レストランの経営上問題な点は、冬季の12月から3月にかけて、観光客の動きが少なくなることである。この時期は、博物館の入館者も極端に少なくなる頃で、店の売り上げが落ちる反面、経費を下げられない事情もあり、年間を



レストランからは雄大な北上川が一望できる

通じた経営の安定を図る必要がある。その対策として考えられるのが外商部門の強化である。前沢牛の特徴を生かした加工調理食品の販売や贈答用の肉牛販売など、安定した顧客層を掴むことができれば、閑散期間の補填のみならず全体の売り上げ増加につながり、結果的には、そのことが博物館のピーアールにもなる。

博物館とレストラン経営は、一応独立した存在であるが、町のシンボルとしての博物館と前沢牛のピーアールという、どちらにとっても多くの人に知ってもらいたいという方向は同じであると考えている。

調査・企画・デザイン・設計・製作・施工・  
監理・運営およびコンサルティング・プロデュース

より良い「社会交流空間づくり」にむけて…

**株式会社 丹青社**

〒110-0005 東京都台東区上野5-2-2 TEL 03-3836-7221(代表)

札幌・仙台・新潟・名古屋・大阪・鳥取・福岡

URL <http://www.tanseisha.co.jp>



十五夜コンサート

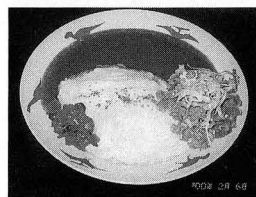
**めざすのは  
「小宇宙」の実現です。**

**NOMURA**

株式会社 乃村工藝社

本社/東京都港区芝浦4-6-4 〒108-8565 電話03-3455-1171(代)  
ホームページ <http://www.nomurakougei.co.jp>

ディスプレイおよび建築の調査・コンサルティング・  
企画・設計・デザイン・プロデュース・演出・制作施工



1

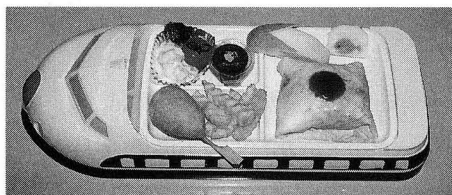


2

## ミュージアム レストラン

館 名	レストラン名	経営団体名	料 理 名
あいち健康プラザ	リストランテ・ランポーネ	(株)ジェムカワグチ	四季の味暦 ヘルシーランチ 健康リゾットランポーネ風 パスタランチ
熱川バナナワニ園	フルーツパーラー	直営	ミラクルセット
鴨川シーワールド	レストラン「オーシャン」	三井観光開発(株)	会席弁当 カフェテリア団体メニュー
群馬県立自然史博物館	煉瓦屋	(株)スクエア	恐竜カレー(写真1)
国立科学博物館	食堂	(株)精養軒	草食ランチ ステゴサウルスセット 肉食ランチ ティラノサウルスセット
狭山市立博物館	クッチーナ	個人(宮岡幸江)	抹茶セット せん茶セット クッチーナオリジナルアイスクリーム 野菜カレー  スパゲッティミートソース
滋賀県立琵琶湖博物館	にほのうみ	(株)南洋軒	湖の幸天ぷらうどん(写真2) 湖の幸天ぷら丼
下田海中水族館	シーパーク	ホテル伊豆急	芽かぶとろろ丼 海鮮ぞうすい 伊豆の定食
広島市交通博物館	カフェレストラン シャトル	(株)マツヤ専門調理センター	しんかんせんランチ(写真3)
前沢町立牛の博物館	レストラン前沢ガーデン	(株)陣場	前沢牛ハンバーグステーキ 特製コロケ 前沢牛ビーフカレー 前沢牛ランプステーキのコース(100g) 前沢牛サーロインステーキ(200g) 前沢牛ヒレステーキ(160g)
神奈川県立青少年センター	メルヘン	(株)メルヘン	日替りランチ オリジナルパスタランチ ラーメン&小カレーランチ 焼きたてクレープ 自家製プリン  ミックスピザ ローストビーフ丼
新潟県立自然科学館	自然科学館アートコーヒー店	アートコーヒー	UFOランチ
鳥取県立博物館	喫茶セザンヌ	個人	日替り定食 和風ラーメン
トヨタ博物館	ミュージアムレストラン	(株)トヨタエンタプライズ	森林風ランチ
船の科学館	レストラン海王	(財)日本海事科学振興財団	青蟹湯麺 魚翅湯麺 三葱炒麺 特別定食 自家製ケーキ

# オリジナルメニュー



3

内 容	価格(税込)円
旬の素材を特別に仕上げた月替りメニュー。 低カロリーメニューの組合せ。栄養価640～730kcal 油を未使用で調理、洋風雑炊。 メニュー内容は日替り、女性に人気あり。	2,940 1,890 924 1,029
酸っぱい果物をミラクルフルーツで甘くたべさせる体験メニュー（季節限定）。	1,000
鴨川ならではの新鮮な海の幸を活かした寿司や刺身など4種類のコースがある。 オーシャンちらしにカレーライス、シーフードスパゲッティなど、1トレイ1スルースタイルでお好みのメニューがチョイスできるシステム。	1,000～2,000 1,600
卵を使いオムレツ風にライスをつつみ、恐竜のデザイン入りの皿に盛って雰囲気を出している。	850
ポテトコロッケ、サラダ、オムレツなどの盛り合わせ。夏休み期間中は恐竜の焼き印を押したクッキーがつく。 トンカツなど肉中心の盛り合わせ。夏休み期間中は恐竜の焼き印を押したクッキーがつく。	800 1,000
狭山茶で作った抹茶「明松」を使っています。 狭山茶と栗の渋皮煮で狭山の味を。 抹茶、マロン、ゴマ、バニラ。他に季節限定の桜、いもなど。 合挽肉の旨みと、バターで1時間炒めた玉ねぎと、リンゴ人参をジュースにし、トマト、ピーマン、ナスが沢山入ったベジタブルカレーです。 合挽肉、鳥レバー、玉ねぎ、人参、セロリ、トマトをオーブンで3時間煮込んだ本格ミートソース。	500 500 300 850 800
琵琶湖のおオクチバスと近江鱒と野菜の天ぷら	710
琵琶湖のおオクチバスと近江鱒と野菜の天ぷら	820
若布のみみを湯通しし、千切りにしたものにたれ、イカソーメンを混ぜ、丼ご飯にかけて食す健康食。 エビ、帆立貝、カニ身、のり等にきのこ、三葉が入ったアツアツ雑炊。つけあわせの柚子たこ塩辛も珍味。 伊勢海老とカニと海藻入りの大盛り味噌汁と、風味豊かな岩海苔をご飯にかけて食べる。	1,150 980 1,200
新幹線形のプレートにのったお子様ランチ。子供が食べ残しをしないよう、料理の随所に工夫が凝らされている。	550
100%前沢牛を使用したハンバーグ。前沢牛ならではのしっかりした味わい。 前沢牛の挽き肉とホワイトソースがベースのクリーミーな手造りコロッケ オリジナルのカレーソースと時間をかけてじっくり煮込んだ角切り前沢牛のマッチング。マイルドな辛さ。 前沢牛のステーキを手頃な価格で。きのこたっぷりのソースでボリュームも充分。 見事な霜降り前沢牛のサーロイン。前沢牛ならではの脂の旨みも格別。 しっとりとしたやわらかさが特徴。赤ワインをたっぷり使ったソースで。	840 893 840 1,575 6,825 6,825
毎日、内容が替り、魚からお肉までボリューム満点のランチ。スープ・サラダ・ライス or パン付き。 一日ごとに内容が替る、当店オリジナルの Pasta は季節の味を生かしたお洒落な一皿です。スープ・サラダ付 ラーメンともう少しご飯物が食べたい！という熱いリクエストによって生まれた、今ではすっかり人気のランチ。 オーダーごとに一枚ずつ丁寧に焼いたクレープに、手作りの苺のソースやチョコレートのかけたもの。 和陶器に流し込んで焼き上げたプリンとは常時カスタード、クリームチーズ、パンプキンがあり、その他にも苺プリンなど、リクエストによって色々なプリンが揃っています。 生地から仕込む本格派。チーズも数種類をミックスした特製ピザがファミリーにも大好評です。 店のオープンでじっくりと焼き上げたローストビーフを、和風に（綿糸玉子、海苔、大葉を添えて）。	800 900 800 450～ 450 750 1,000
UFOをイメージした皿にハンバーガー、プリン、デザートなどを盛合わせている。	500
“おふくろの味”と温かさをモットーに和・洋・中交互の手作り料理です。コーヒー付き。 太麺に高菜漬けと大葉をのせて、“さっぱり”と和風に仕上げている。	600 400
豊かな新緑に囲まれた自然環境、太陽が一杯の森林公園。キノコたっぷりを中心に、牛背肉ステーキを添えます。パン又はライス、コーヒー付き	1,575
ワタリガニ姿一匹と、麺は1人前半でボリューム満点。 フカヒレと海鮮入り、麺は1人前半でボリューム満点。 三種ネギ焼そば（エビ入り又はカニ入り） 4種セットメニュー（A：牛肉カキ油炒め、B：エビチリソース、C：豚肉・ピーマン炒め、D：マーボ豆腐） 季節の自家製ケーキ	1,890 2,100 1,050 1,365～1,995 630

※二重線から上が博物館の特色をいかしたメニュー



## 海 外 ニ ュ ー ス

安井亮事務所

**英エジンバラで、『ダイナミック・アース』が開館**

地球の地殻変動、地球の歴史等を扱った新しい科学館『ダイナミック・アース』(Dynamic Earth) が、1999年7月に英スコットランドのエジンバラで開館した。総工費3,400万ポンドのうち、英政府のミレニアム事業から1,500万ポンド、エジンバラ市等の地方公共団体から1,380万ポンド、そして残りの520万ポンドはB P社、スコットランド銀行、グラクソ・ウエルカム社やロイター通信等の民間資金が投入された。開館1年目の年間入館者は43万人が予想され、最初の4ヶ月間で早くも25万人が同館を訪れた。

**英ドンカスターで『アース・センター』が開館**

『ダイナミック・アース』と同様の地球科学館『アース・センター』(Earth Centre)が、1999年4月に英イングランド中部のドンカスターで開館した。総工費1億ポンドのうち、英政府のミレニアム事業から5,000万ポンド、ヨークシャー州等の地方公共団体から1,911万ポンド、EC 地域開発補助金から475万ポンド、そして残りの3,089万ポンドはユニレバー社等の民間資金が投入された。開館1年目の年間予想入館者は12万人。

**英アービングで、発明の科学館が2000年5月に開館予定**

英スコットランドのグラスゴー近郊のアービングで、2000年5月の開館をめざして、発明をテーマにした科学館『ザ・ビッグ・アイデア』(The Big Idea) の建設が進んでいる。同館の常設展示では、ジェームズ・ワットからアレクサンダー・フレミングに至るまで、スコットランドが輩出した23人の世界的に有名な発明家や科学者の偉業が紹介されることになっている。アービングは、ノーベル賞基金を作ったアルフレッド・ノーベルの所有していたダイナマイト製造会社の重要な生産基地としても知られており、同館では『爆破の歴史シアター』が目玉になっている。総工費11,830万ポンドは、英政府のミレニアム事業やアービング市からの公共資金のほかに、民間から資金が投入された。開館1年目の年間予想入館者は25万人。

**英ブリストルで、『@ブリストル』が2000年春に開館予定**

英イングランド西部のブリストルで、2000年春の開館をめざして、科学館とアイマックス・シアターを備えた科学パーク『@ブリストル』の建設が進んでいる。科学館では、工業都市ブリストルが誇るエンジニアリングの歴史、先端

技術、最先端の医療技術が、インタラクティブな展示で紹介されることになっている。またアイマックス・シアターを併設した植物園も設けられることになっている。総工費9,700万ポンドのうち、英政府のミレニアム事業から4,130万ポンド、ブリストル市等の地方公共団体から2,800万ポンド、そして残りの2,770万ポンドはウエルカム医学財団とロイズ銀行の民間資金が投入された。開館1年目の年間予想入館者は75万人。館長のジリアン・トーマス女史は、ロンドンの国立博物館でのキュレーターを皮切りに、その後マネジメントに転身して、イギリスで初めての子ども博物館『エウレカ』の立ち上げとパリのラ・ビレットの運営に携わっており、現地ではその経営手腕に注目している。

**英ニューカスルで、生命科学館が2000年春に開館予定**

英イングランド中部のニューカスル・アポン・タイムで、2000年春の開館をめざして、生命の科学をテーマにした新しい科学館の建設が進められている。総工費6,180万ポンドのうち、既に英政府のミレニアム事業から3,150万ポンド、ニューカスル・アポン・タイム市等の地方公共団体から2,400万ポンド、EC 地域開発補助金から1,050万ポンド、そしてウエルカム医学財団等から630万ポンドの民間資金が投入された。開館1年目の年間予想入館者は25万人。

**英ダンディーで、ダンディー科学館が2000年夏に開館予定**

英スコットランドのダンディーで、2000年夏の開館をめざして、同市にとっての初めて科学系展示施設となるダンディー科学館の建設が進んでいる。同館は、クローン羊『ドリー』の誕生やダンディーが世界に誇る植物の遺伝子組み換え技術、ガン研究、神経科学を色濃く展示に反映した科学館である。総工費5,200万ポンドのうち、英政府のミレニアム事業から1,600万ポンド、ダンディー市等の地方公共団体から80万ポンド、そして残りの2,280万ポンドはウエルカム医学財団等の民間資金が投入された。延べ面積：1,570㎡、展示面積：1,000㎡。

**英グラスゴーで、新しい科学館が2000年秋に開館予定**

英スコットランドのグラスゴーで、2000年10月の開館をめざして、新しい科学館『グラスゴー・ディスカバリー・センター』(Glasgow Discovery Center) の建設が進められている。総工費7,500万ポンドのうち、既に英政府のミレニアム事業から3,500万ポンド、グラスゴー市等の地方公



共団体から1,560万ポンド、EC 地域開発補助金から1,975万ポンド、そして残りの約465万ポンドが民間資金から投入された。開館1年目の年間予想入館者は60万人。

#### 英ロサーハムで、製鉄の科学館が2001年に開館予定

旧国営製鉄会社が操業していた英イングランド中部のロサーハムで、2001年4月の開館をめざして、鉄に関する科学館『マグナ』の建設が進んでいる。同館は、数年前に閉鎖になった製鉄所の施設を整備して完成される。常設展示では、人類と鉄との関わりを紹介した歴史、ロサーハムで製鉄に関わったさまざまな人の生活、鉄鉱石の採掘等が扱われることになっている。総工費3,720万ポンドのうち、既に英政府のミレニアム事業から1,860万ポンド、ロサーハム市等の地方公共団体から550万ポンド、EC 地域開発補助金から640万ポンド、そして民間から670万ポンドが投入されている。開館1年目の年間予想入館者は25万人。

#### 英バーミンガムで、新しい科学館が2001年に開館予定

英イングランドのバーミンガムで、2001年9月の開館をめざして、新しい科学館『ディスカバリー・センター』(Discovery Centre)の建設が進んでいる。バーミンガムのエンジニアリングの歴史と先端技術を紹介する同館では、廃館が決定されているバーミンガム科学産業博物館の常設展示にある全ての技術系の展示品も継承することになっている。総工費1億1,300万ポンドのうち、既に英政府のミレニアム事業から5,000万ポンド、EC 地域開発補助金から2,360万ポンド、そしてウエルカム医学財団から3,940万ポンドの民間資金が投入された。開館1年目の年間予想入館者は30万人。2000年春にロンドン国立科学博物館の総館長を勇退するニール・コッソング氏は、『ディスカバリー・センター』の特別アドバイザーとして現在加わっている。

#### 米カリフォルニア心臓の博物館、2001年に新装開館予定

カリフォルニア州ランチョ・ミラージュにあるカリフォルニア心臓博物館(設立1988年 California Museum of the Heart)では、2001年2月の開館をめざして、全面改築の工事が進められている。総工費3百万ドルの新施設では、心臓疾病、心臓外科手術、心臓の機能等に関する常設展示が設けられることに対して、市民からは高い関心が寄せられているが、心臓を模した巨大な模型が建物から飛び出ている完成予想の姿に対しては、賛否両論がわき起こっている。反対論の中核は、グロテスクな外観が住宅地である周囲の景観を壊しかねないという心配である。

#### 新しいホームページ

Argonne Information Center Argonne, U.S.A.

[www.anl.gov:80/OPA/AIC/index.html](http://www.anl.gov:80/OPA/AIC/index.html)

Brevard Museum of History & Science Cocoa, U.S.A.

[www5.palmnet.net/~brevardmuseum](http://www5.palmnet.net/~brevardmuseum)

Chicago Children's Museum Chicago, U.S.A.

<http://www.chicchildrensmuseum.org>

Children's Museum of Albuquerque, Albuquerque U.S.A. [www.explora.mus.nm.us](http://www.explora.mus.nm.us)

Children's Science & Technology Museum Terre Haute, U.S.A.

<http://web.indstate.edu/community/cstm/>

Delaware Agriculture Museum Dover, U.S.A.

[www.agriculturalmuseum.org](http://www.agriculturalmuseum.org)

Discovery Center of Idaho Boise, U.S.A.

[www.scidaho.org](http://www.scidaho.org)

Field Museum of Natural History Chicago, U.S.A.

[www.fnmh.org](http://www.fnmh.org)

Imaginarium Anchorage, U.S.A.

[www.imaginarium.org](http://www.imaginarium.org)

Kennedy Space Center Visitor Complex U.S.A.

[www.kennedyspacecenter.com](http://www.kennedyspacecenter.com)

Kirby Science Discovery Center Sioux Falls, U.S.A.

[www.WashPav.org](http://www.WashPav.org)

Lincoln Park Zoo Chicago, U.S.A.

[www.lpzoo.com](http://www.lpzoo.com)

Museum of Science and Industry

Chicago, U.S.A.

[www.msichicago.org](http://www.msichicago.org)

National Science & Technology Centre Calcutta, India [www.ncsm.org](http://www.ncsm.org)

Ryiner Map Collection Berne, Switzerland

[www.stub.unib.ch/stub/ryhiner/](http://www.stub.unib.ch/stub/ryhiner/)

Science Center Carbondale, U.S.A.

<http://members.accessus.net/~scictr/>

Science Center of Iowa Des Moines, U.S.A.

[www.sciowa.org](http://www.sciowa.org)

\*安井亮事務所: Fax.042-736-5916

E-mail: [zakvaran@pop12.odn.ne.jp](mailto:zakvaran@pop12.odn.ne.jp)

# 3月4月の特別展

## 岩手県立博物館

第50回企画展「岩手の経塚」 3月22日～5月7日

## 牛の博物館

第8回企画「バターの故郷」 1月29日～3月20日

## 仙台市科学館

「数学と遊ぼう ―かたちと数のワンダーランド―」  
3月11日～4月16日

## 秋田県立農業科学館

「フォトコンテスト作品展」 2月29日～3月19日

## 栃木県立博物館

世界遺産登録記念特別企画展「聖地 日光の至宝」  
4月18日～6月4日

## 群馬県立自然史博物館

特別展「ちびっこ恐竜来る」 3月11日～5月14日

## 狭山市立博物館

「SAYAMAの埋蔵文化財展」 3月18日～6月18日

## 浦和市青少年宇宙科学館

「年間活動展」 3月19日～4月9日

「日本の科学者の歴史」展 4月16日～6月28日

## 埼玉県立自然史博物館

企画展「埼玉の植物とその分布」 12月16日～6月11日

## 所沢航空発祥記念館

航空発祥祭 3月18日～4月2日

## 交通博物館

―絵画・デザイン・そして鉄道―  
黒岩保美作品展 1月25日～3月12日

## NHK放送博物館

企画展「放送開始75周年展」 2月2日～5月28日

## 東京都高尾自然科学博物館

特別展示「冬芽の世界」 2月8日～4月2日

## 府中市郷土の森博物館

「'99ワイルドライフ写真大賞展」 1月23日～3月31日

「展示でみる森の野鳥観察一冬編」 1月23日～3月31日

## 横浜こども科学館

企画展「トリックであそぼう！ ―だまされよう！―」  
11月3日～4月9日

## 川崎市青少年科学館

天体写真展 3月4日～4月27日

## 江ノ島水族館

真水にすむ海の魚たち展 3月1日～3月31日

変ったドジョウの仲間たち展 4月1日～4月30日

## 新潟県立自然科学館

春の特別展「磁石の力」 3月18日～4月9日

## 上越市立水族博物館

春季特別展「グッピー展」(仮称) 4月22日～5月28日

## 富山市科学文化センター

写真展「白木峰の四季」 3月18日～4月9日

特集展示「収蔵品が語る富山の自然」 4月22日～5月28日

## 立山カルデラ砂防博物館

写真展「自然から学ぶ」 3月29日～4月16日

## 福井県立博物館

特別展「モノから学ぶ～博物館のおもしろ実験展～」  
2月5日～3月12日

## 福井県児童科学館（エンゼルランドふくい）

企画展「ロボット夢ワールド21」(仮称)  
3月18日～3月26日

## 岐阜県博物館

平成11年度新収蔵資料紹介展示 3月15日～3月29日

資料紹介展「はくせいはいんちしない  
～さるやきつねの巻～」 4月8日～6月11日

## 中津川市鉱物博物館

第4回私の展示室「写真展 なえぎの自然」  
3月26日～5月21日

## 名古屋市科学館

特別展「宇宙展2000～さあ始めよう時空の旅」  
3月18日～5月14日

## でんきの科学館

ペーター博士の夢「でんち」研究所  
3月18日～4月9日

## トヨタ博物館

企画展「リヤエンジン車のいろいろ」 4月2日まで

特別展「自動車をつくり育てた人たち」  
4月中旬～7月中旬

## 半田空の科学館

1999年 星空の記録 2月12日～3月12日

## 和歌山市立こども科学館

特別展「磁石の不思議」 3月25日～5月5日

## 交通科学博物館

企画展「鉄道とプロ野球」 2月20日～4月23日

## きしわだ自然資料館

海のオオトカゲ・モササウルスとそのなかまたち  
～蕎原箱谷産の化石展～ 2月13日～3月26日

## 姫路科学館

特別展「火の国・にっぽん」 2月26日～3月31日

**兵庫県立人と自然の博物館**

「絶滅—地球生物の過去・現在・未来—」

2月19日～6月18日

**倉敷市立自然史博物館**

特別陳列「絶滅危惧植物展」

4月1日～5月31日

**姫路科学館**

特別展「火の国・にっぽん」

2月26日～3月31日

**広島市交通科学館**

はたらくのりもの大集合～バスいろいろ大発見

2月22日～4月9日

「宇宙開発と乗り物」展（仮称）

4月25日～6月11日

**広島市江波山気象館**

企画展「ありがとう富士山気象レーダー

～富士山測候所物語」

3月18日～4月16日

**防府市青少年科学館ソラル**

企画展「アイデア遊園inソラル」2月4日～3月20日

企画展「春休みわくわく科学教室」3月28日～4月5日

**徳島県立博物館**

「藍一技と意匠の美」

4月18日～5月21日

**愛媛県総合科学博物館**

館蔵品展「海の森—海藻の世界」

3月19日～5月7日

**出水市ツル博物館クレインパークいづみ**

第11回企画展「北海道の生き物とアイヌの暮らし」

11月7日～3月21日

## 展示更新

**浜松科学館**

[展示室名] 「自然のコーナー」

[主なコーナー(展示物)] 昆虫アドベンチャー

[更新の展示面積] 0.8m<sup>2</sup>

[オープンの期日] 平成11年10月

[準備期間] 6か月

[担当業者] 施工：ソニー(株) 納入：NTT西日本

[総工費] 浜松リサーチセンターからの貸与品（3年間）

**京都市青少年科学センター**

[主なコーナー(展示物)] 「一磯の環境—海の中の生命」

[更新の展示面積] 12m<sup>2</sup>

[オープンの期日] 平成11年10月23日

[準備期間] 基本設計 平成10年9月～平成11年3月

実施設計 平成11年3月～5月

施工期間 平成11年7月16日～10月21日

[担当業者]

設計：(株)池村理科器械店

施工：(株)池村理科器械店、(株)森田電設、上原工務店

展示：(株)池村理科器械店

[総工費] 12,150,390円(付帯修繕費を含む)

**神戸海洋博物館**

[展示室名] 常設展示室

[主なコーナー(展示物)]

ジオラマ模型「神戸コンテナターミナル」

[更新の展示面積] 64m<sup>2</sup>

[オープンの期日] 平成12年2月2日

[準備期間] 平成11年4月1日～平成12年2月2日

[担当業者]

設計：(株)文化環境研究所

施工・展示：(株)乃村工藝社、(財)NHKサービスセンター

[総工費] 45,000,000円

### 全科協情報—事務局からのお知らせ—

全科協ニュース Vol.30, No.1の特集でご紹介した  
MAGDA の住所が変更になりましたのでお知らせします。

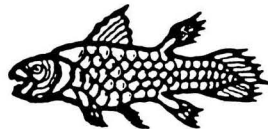
MAGDA

c/o Saffon Walden Museum,

Museum Street, Saffon Walden, Essex CB10 1 JL, U.K.

美術

# はく製

〈各 種 生 物〉  
剥製・骨格標本・レプリカ  
加工/販売/リース有限 東洋近代美術研究所  
会社

製作所 〒272-0816

千葉県市川市本北方2-18-1

本社 〒272-0834 千葉県市川市国分5-3-25

直通 ☎047-337-5678

☎047-337-5883

FAX 047-338-1978

☎047-374-1564



## COLORATA.

### ミュージアムグッズの企画・制作・販売・輸入

カロラータ株式会社

本社・企画室

〒111-0053 東京都台東区浅草橋4-6-8 西澤ビル

TEL.03-3865-8110 FAX.03-3864-4049

営業部・商品管理部

〒136-0072 東京都江東区大島2-13-11

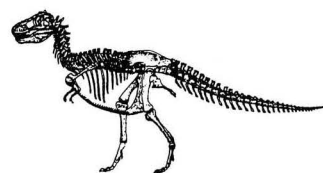
TEL.03-3684-8311 FAX.03-3864-8310



INTERIOR/EXTERIOR/DESIGN/EQUIPMENT  
**ONY KOBO CO., LTD.**  
東京都千代田区神田神保町2-40-5 東久ビル  
TEL (03) 3221-1102 FAX (03) 3221-1185

動物園／水族館／博物館  
企画・設計・施工

※世界の化石・  
鉱物・恐竜・化石  
人類・動物骨格  
標本及び模型の  
輸入専門業者



ティラノサウルス・REX

株式会社 **ゼネラルサイエンス**  
コーポレーション

〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-14 赤坂ベルゴビル802  
TEL 03 (3583) 0731代表 FAX 03 (3584) 6247

**TOKYO SCIENCE CO., LTD.**

**ミュージアム・ショップ向／教育用地学標本**

地学標本(化石・鉱物・岩石)  
古生物関係模型(レプリカ)

大英博物館／恐竜復元模型

●常設ショールーム：紀伊國屋書店・新宿本店1F TEL.03(3354)0131(代表)

**髯東京サイエンス**  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-2 イフオ・アネックスビル  
TEL.03(3350)6725 FAX.03(3350)6745  
E-mail:science@oak.ocn.ne.jp

 since 1974

#### 全科協ニュース編集委員会

NHK放送博物館 チーフディレクター 河野光子  
滋賀県立琵琶湖博物館 展示科長 高橋啓一  
ミュージアムパーク茨城県自然史博物館

資料課長 中山静郎

国立科学博物館 普及部 普及課長 佐藤兆昭  
国立科学博物館 普及部 普及課専門職 原田紀子

#### 全科協事務局

国立科学博物館普及部普及課 黒川 保 鈴木千絵  
Tel.03-5814-9857・9858 Fax.03-5814-9898

発行日 平成12年3月1日

発行 全国科学博物館協議会©

〒110-8718 台東区上野公園7-20 国立科学博物館内

印刷 島崎印刷株式会社

**感じる科学**

▲人体型ロボット  
コスモ博士(宮崎科学技術館)

▲恐竜ロボット  
ティラノサウルス

文化施設・商業施設・ディスプレイ企画・設計・施工

**kokoro 株式会社ココロ**

〒205-0023 東京都羽村市神明台4丁目9番1号  
TEL0425(30)3911(代)・3939(営業)  
FAX0425(30)3900・3927(営業)